

磐梯山登山道の利用状況

【目的】 磐梯山における登山道の状況を自然保護と整備箇所、及び危険個所の観測

- 【結果】**
- | | |
|-------------|--|
| 自然保護 | (1) 黄金清水付近の踏込み
(2) お花畑付近の踏込み
(3)(4) 櫛ヶ峰手間付近からの踏込み
(5) 携帯トイレの回収ボックス
(6)(7) 弘法清水付近の用便跡
(8) 山頂付近の用便跡 |
| 整備箇所 | (1) 渋谷コースの登山口の標識倒れ
(2) 翁島コースの標識倒れ
(3) 川上コースの橋の壊れ
(4) 猪苗代コースの沼ノ平の標識倒れ
(5) 猪苗代コースの沼ノ平付近の登山道の壊れ
(6) 渋谷コースの櫛ヶ峰山腹のぬかるみ |
| 危険個所 | (1)(2) 翁島コース・大岩滑落防止策
(3) 川上・裏磐梯コースの火口の土石流の沢
(4) 川上・裏磐梯コースの火口の土石流 |
| 荒地 | (1) 弘法清水の横の広場
(2) 火口（全体）
(3) 火口の 川上・裏磐梯コース分岐付近
(4) 火口（川上コース側） |
| その他 | (1)(2) 湯沼の山崩れ、倒木 |

【考察】 磐梯山には年間3万人以上の登山者が訪れる。
このため、登山者の安全上から危険個所及び道標の整備、地形の変化の監視が必要であり、自然保護の上から監視も重要であると思われる。
また、噴火から120年が経ったことから、植生や地形の変化についても注意して見ていく必要があるのではないと思われる。特に、ジオパークに認定されたことから道標の整備と説明板の設置が望まれる。

【概要】 (1) 期 日
平成23年 6月16日 6月30日 7月10日 7月13日
平成23年 9月29日 10月18日

(2) 調査者 江花俊和（猪苗代山岳会会長）